令和5年度（2023年度）モニタリングシート

施設名	中山小 学童保育所

視点		評価項目		6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	所管課期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置（常勤数、非常勤数、加配数）・放課後児童支援員	出席児童数に見合った職員配置であるか。また、放課後児童支援員は事業計画どおり配置されているか 【日報】	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B 出席児童数に見合った職員配置である。	B		B	B		B 出席児童数に見合った職員配置である。	B		B 出席児童数に見合った職員配置をした。万一職員配置数に見合わない場合でも、全学童より応援申請を行い職員配置を守った。
		月報（学童保育状況報告書）・日報（育成日誌兼業務記録）を作成しているか		B	日報・月報は適正に作成されている。	B 適正に作成している。	B		B	B		B 適正に作成している。	B		B 毎月及び毎日の業務記録として作成しており、職員間での共有も行った。
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B 適正に処理している。	B		B	B		B 適正に処理している。	B		B 適正に処理した。
			延長利用料金の徴収は適正に行われているか 【独立した会計帳簿・日報、月報・銀行口座・領収書綴】	B	適正に徴収されている。	B 適正に行っている。	B		B	B		B 適正に行っている。	B		B 適正に行った。
		収支計画が適正であること	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか 【給与規程・賃金台帳・事業計画書（収支計画）・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B 適正に行っている。	B		B	B		B 適正に行っている。	B		B 適正に行った。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	児童発達、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか 【研修件名・内容】	B	法人独自の研修、児童虐待研修、市内や法人内の実例を基にした研修を実施。	B 行われている。 「児童虐待研修」 八王子市内の実例 過去の法人内の実例 子どもの権利条約を学ぶ	A	法人独自の研修、市内や法人内の実例を基にした研修に加え、外部講師を招いて「子どもの権利条約を学ぶ研修」、「子どもの発達とそれに関する対応を学ぶ研修」、「施設内の環境マネジメントコンプライアンス研修」など、職員の資質向上を目的に様々な内容研修を実施している点を評価した。	B 行われている。 7/6「子どもの発達」 9/21「子どもの権利条約」	B	法人独自の研修等、計画的に実施している。	A 法人全体でのコンプライアンス研修など、多岐にわたる研修を行っている。	B		A 年間通して専門の知見を持つ講師に研修依頼をしたり、法人全体で行われている研修に参加したりするなど、適宜人材育成研修が行われた。
			保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか 【事業計画書・日報・ヒアリング等】	B	安定かつ継続的な職員配置がなされている。	B 同じ現場で長く働けるよう、ヒアリング等を実施して職員体制を安定させている。	B		B	B		B 同じ現場で長く働けるよう、ヒアリング等を実施して職員体制を安定させている。	B		B 現場内での定期的な話し合いや個別のヒアリングを実施して職員の心身ケアを行い、長く現場で働けるようサポートを行った。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B 健全である。	B		B	B		B 健全である。	B		B 健全である。
			業務の一括委託が行われていないか 【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で、非常通報装置、定期清掃が行われている。	B 定期清掃等、必要なもののみ行っている。	B		B	B		B 定期清掃等、必要なもののみ行っている。	B		B 定期清掃等、必要なもののみ行った。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	入退所等関係書類が遅滞なく処理されているか		B	適切に処理されている。	B 複数人で確認し、処理している。	B		B	B		B 複数人で確認し、処理している。	B		B 書類管理について現場内で保管のルールを決め、複数での確認も行うことでもれなく処理を行った。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開所日数、開所時間は守られていたか 【日報、月報・事業報告書】	B	開所日数、開所時間は守られている。	B 守られている。	B		B	B		B 守られている。	B		B 守られている。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理・保存がされている。	B ファイル基準表を作成し、管理している。	B		B	B		B ファイル基準表を作成し、管理している。	B		B ファイル基準表を作成し、法人内での書類や市の書類の保管期限をファイルに明記する等、適切に管理した。
			設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか 【事業報告書・実地調査】	A	日常清掃や、保守点検による設備等の維持管理は適切に行われている。また、学童移設直後から、整理・整頓が励行され、児童が過ごしやすいよう保育スペースや事務スペース等のレイアウトを考え、有効な保育面積をより広く確保するよう努められている。	B 適宜行っている。	B		B	B		B 適宜行っている。	B		B 適宜行っている。
			備品の管理が適切に行われているか 【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B 備品台帳を作成し、管理している。	B		B	B		B 備品台帳を作成し、管理している。	B		B 備品台帳を作成し、管理している。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0 【利用者満足度調査】											A	利用者の満足度は3．0以上である。	A 利用者満足度調査の結果、すべての満足度が3.5以上となり、また「全般的な満足度」に関しては全利用者から4の評価を頂いた。
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか		A	法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、児童の情報共有や活動ルール、安全対策等を双方で連携、協力している。また、放課後における障害児の受け入れも積極的に行っていることから、児童が安心して放課後子ども教室に参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態を評価する。	B 学童と同法人が運営を行っているため、随時情報共有をしている。	A	法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、児童の情報共有や活動ルールの共有、安全対策等を双方で連携、協力している。また、放課後における障害児の受け入れも積極的に行っていることから、児童が安心して放課後子ども教室に参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態と取組み実績を評価する。	B	A	法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、児童の情報共有や活動ルールの共有、安全対策等を双方で連携、協力している。また、放課後における障害児の受け入れも積極的に行っていることから、児童が安心して放課後子ども教室に参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態と取組み実績を評価する。	B 学童と同法人が運営を行っているため、随時情報共有をしている。	A	法人が放課後子ども教室を運営している利点を活かし、児童の情報共有や活動ルールの共有、安全対策等を双方で連携、協力している。また、放課後子ども教室における障害児の受け入れも積極的に行っていることから、障害のある児童が安心して放課後子ども教室に参加できるよう、児童の成長を考えた運営形態と取組み実績を評価する。	A 学童と同法人が運営を行っているため、随時情報共有と居力体制が整えられた。また利用者からの要望を聞き、小学校卒業式の日の開催も急遽行うことができた。
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	苦情解決の体制（解決責任者の設置・受付担当者の設置）を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整えるとともに苦情処理のノートを作成し、職員間での情報共有など適切な対応がされている。	B 苦情相談ノートで管理し、職員間で共有している。	B		B	B		B 苦情相談ノートで管理し、職員間で共有している。	B		B 苦情相談ノートで一括して管理しており、職員間で共有している。また、法人内での苦情相談事例等を共有し、自現場の運営に役立てている。
		利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	保護者（会）とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか 【おたより、連絡帳】	B	保護者会、おたより等にて適正に取り組みがなされている。	B 保護者会や父母会の開催、マチコミメールによる情報発信等、適宜行っている。	B		B	B		B 保護者会や父母会の開催、コドモンによる情報発信等、適宜行っている。	B		B 保護者会や父母会の開催、コドモンによる情報発信等で利用者への情報発信を適宜行った。
		学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡大を図っているか 【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	A	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。また、おやじの会、里山の会と連携し町会祭り等の企画や、自治会館を日曜日に借用し、居場所作りを実地するなど、地域との関係は良好であり、地域との連携・協力により保育の充実・拡大を図っている。	A 小学校PTA、おやじの会と一緒に、イベントなどの開催を積極的に行っている。	A	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。また、おやじの会、里山の会と連携し町会祭り等の企画・実施（参加）を行っている。夏季には、地元の高校生ボランティア（卒所生）の受け入れを行っている。また、法人独自の事業である子どもの居場所作りを実地するにあたり地元の自治会館を借用するなど、地域との関係は良好である。地域の人材の参画による保育活動や子どもたちの見守りが継続的に図られている点を評価した。	B	A	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。また、地域のおやじの会、里山の会と連携し行事等の企画・実施（参加）を行っている。法人独自の事業である子どもの居場所作りを実地するにあたり地元の自治会館を借用するなど、地域との関係は良好である。地域の人材の参画による保育活動や子どもたちの見守りが継続的に図られている点を評価する。	A 学童のみならず全校児童を対象とした行事を、地域の方や小学校PTA、おやじの会と協力して行っている。	A	学校や、関係機関と児童の情報を共有し、連携を図っている。また、地域のおやじの会、里山の会と連携し行事等の企画・実施（参加）を行っている。法人独自の事業である子どもの居場所作りを実地するにあたり地元の自治会館を借用するなど、地域との関係は良好である。地域の人材の参画による保育活動や子どもたちの見守りが継続的に図られている点を評価する。	A 全校児童を対象とした行事の主催や、小学校イベントの企画・協力、地域の方やおやじの会との協力を日々行った。
施設の効率的な管理、運営が行われ、経費の節減が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム（H－EMS：ヒームス）」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等】	B	節電・節水、紙のリサイクル、おやつの空き箱の工作利用など環境に配慮した取組みがなされている。	B 行事や日常活動において、利用者に呼びかけて資源の回収・再利用を行っている。	B		B	B		B 行事や日常活動において、利用者に呼びかけて資源の回収・再利用を行っている。	B		B 行事や日常活動において、利用者に呼びかけて資源の回収・再利用をするなど環境に配慮した活動も行った。
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか 【行事計画書、行事参加者名簿】		B	計画どおり実施されている。	B 行っている。	B		B	B		B 行っている。	B		A 年間行事計画通りの行事を行っているほか、地域の方からの要望により読み聞かせの行事を開いたり、法人内での交流行事を行った。
		防災訓練等（地震、火災、不審者、交通ルール等）は事業計画どおり実施されているか		B	地震、火災等を想定した防災教育、避難訓練、不審者対応、交通安全教育など計画的に実施している。	B 実施している。	B		B	B		B 実施している。	B		B 実施している。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の保管等適切な管理のための必要な措置が講じられているか 【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報の取り扱いに関するマニュアルを整備し、施錠付きの書庫にて保管するなど必要な措置が講じられている。	B 適切である。	B		B	B		B 適切である。	B		B 適切である。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【保険証券】										B	保険の加入は適切である。	B 適切に加入している。
			事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順（マニュアル）等を明確にし、体制が整えられているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故・災害に備えて、迅速かつ適切な対処が出来るよう、マニュアル類や連絡体制を整えている。緊急連絡先や初動対応のフローも職員の見やすい場所に掲出するなどの適切な措置が取られている。	B 緊急時に備えて、小学校とも連携できるようにしている。	B		B	B		B 緊急時に備えて、小学校とも連携できるようにしている。	B		B 緊急時に備えて、小学校とも連携できるようにしている。
			事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか 【マニュアル・事業計画書（事業計画）・事故報告書】	B	事故案件、事故事例等を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時にはマニュアルなどにも折に触れ、職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発等、危機管理に関する意識が高い。	B 事故報告に関して、他現場や法人内の他地域学童とも情報を共有し、事故防止に努めている。	B		B	B		B 事故報告に関して、他現場や法人内の他地域学童とも情報を共有し、事故防止に努めている。	B		B 事故報告に関して、他現場や法人内の他地域学童とも情報を共有し、事故防止に努めている。

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されている。育成日誌等の帳票類も詳細に記載されており、会計処理も適切であり、問題はない。 マニュアル類も整備され、学童保育事業を安定的に遂行するよう努めている。また、法人内の学童保育所間で職員応援体制が築かれている。 本施設は在籍児童が少ないが高学年も在籍しており、様々な年齢の児童に対応した保育や、異年齢集団から学ぶことができる社会性・協調性を育む保育に繋げるため、地域と協同した多様な保育活動に取り組んでいる。これにより、利用者満足度調査の数値も高い。 法人が放課後子ども教室を運営しており、両事業実施において関係組織との綿密な連携を図り、学童卒所後も安心して放課後子ども教室に参加できる環境を実現している。 今後も学校や地域の諸団体と良好な関係を保ち、設置趣旨に沿った効率的・効果的かつ安定的な学童保育所運営を期待する。